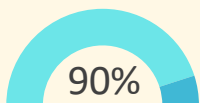


授業評価アンケート結果から見える福岡教育大学の授業改善状況 (2023年度前期)

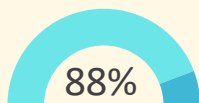
授業は、学生の皆さんと授業担当教員の双方の努力と協力によって作り上げていくものです。福岡教育大学は、授業評価アンケートに基づき、授業方法・内容の改善を図り、学生の皆さんにとって、より良い学習環境につながるよう取り組みます！

授業評価アンケート結果

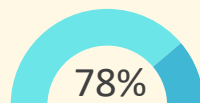
学生回答率 57.8% ※以下は回答者内の割合です。



総合的に満足した
(やや満足を含む)



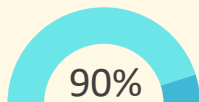
関心・意欲を高めるものだった
(ややそう思うを含む)



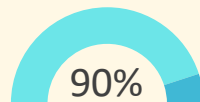
進行速度は適切だった
(ちょうど良かった)



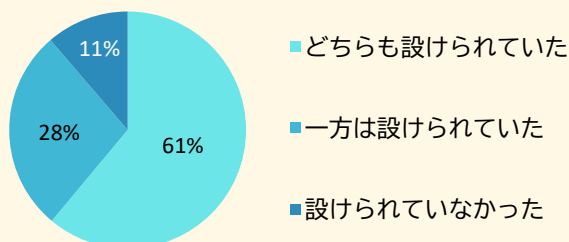
内容を十分、理解・修得できた
(ややそう思うを含む)



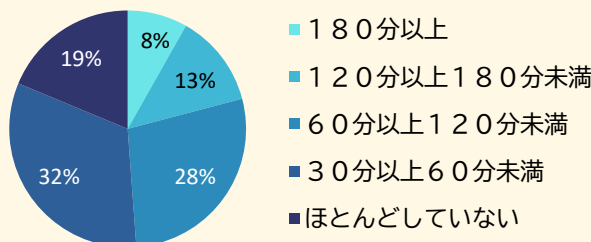
教員を目指す上で有意義だった
(ややそう思うを含む)



主体的に取り組むことができた
(ややそう思うを含む)



教員との質疑応答、学生同士の意見交換の場が十分に設けられていたか

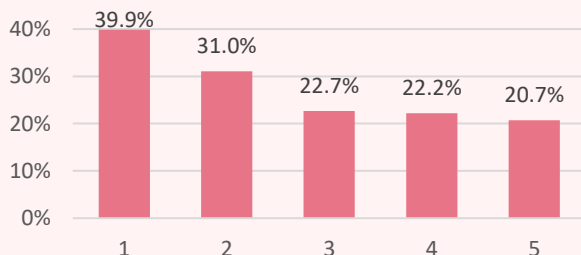


予習・復習に1週間当たり費やした時間は？

※教員がいくつかの選択肢から選んだ割合の多かった改善案を挙げています。(複数選択あり)

教員が取り入れたいと思う改善案

- 1 授業内容の精選を行う
- 2 授業時間外の学習の指示を明確にする
- 3 話す内容をわかりやすくするように工夫する
- 4 授業の進行速度を調整する
- 5 授業内容の難易度を調整する



上記以外に…

- 授業内での学生間の意見交換の機会を増やす
- 演習課題・実演指導の機会を増やす
- 教員との質疑応答ができるような工夫を行う
- 教室環境の工夫 (サイズ、受講者数、座席の配置・指定)

教員の自評

- 学生の興味ある話題を取り入れ、より理解しやすく親しみやすい内容にしていきたい
- 学生がより意欲的に意見交換を行い、授業時間外でも主体的になれるよう、授業内容の精選が必要
- 受講生が多い人数の場合、ICT機器を活用し、いかに効率よく学習を進めることができるかが今後の課題
- 学生の自発性を損なわせないよう、答えではなく、ヒントとなる声かけから学生が思考するようにしたい

【“FD(ファカルティ・ディベロップメント)”って?】

「あまり聞きなれない」と思う方がまだ多いと思います。FDの始まりは米国で、日本では「教員が授業内容・方法を改善し、向上させるための組織的な取り組みの総称」とされています。このアンケートはその一つです。

【お問い合わせ】

福岡教育大学 教育支援課教務企画室
TEL : 0940-35-1287
Email : kyoumu-1@fukuoka-edu.ac.jp
URL : <https://www.fukuoka-edu.ac.jp/>